

手作りタオル帽子を寄贈していただきました

抗がん剤治療などにより頭髪が抜けた患者さまのためにと、今年もたくさんの手作りのタオル帽子を9月28日に「ホット・ハンドむろらん」さん、10月3日には「札幌帽子の会」の皆さんより寄贈して頂きました。

「ホット・ハンドむろらん」(久保代表)、「札幌帽子の会」(和田代表)はがん患者さんの頑張る力にとの思いを込め、手作りでタオル帽子を作製・寄贈する活動をしているボランティア団体です。毎年たくさんタオル帽子をご寄附いただき現在も当院で治療中の患者さんが活用されています。タオル帽子は1枚のタオルを縫い合わせて作った帽子で、抗がん剤治療薬で脱毛した方の外見ケアのために使用されるものです。肌触り・吸湿性も良く洗濯が可能で衛生的に使用でき、なんといっても作った人の温かい気持ちが伝わります。

「自分たちが作成したタオル帽子が患者さんの力になればうれしい」と久保さん、和田さんともにお話しされていました。

タオル帽子は各病棟や外来化学療法室などにおいてあります。希望される方はお気軽に看護師にお尋ねください。



近藤院長(右)と「ホット・ハンドむろらん」代表の久保さん(中央)



「札幌帽子の会」代表の和田さん(中央)



タオルの色やデザインを生かした可愛いものからシンプルなデザインまで様々。素材もタオル生地の外に木綿でできたものもあります。